

公民館訪問NEWS

右の二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます。→



明和公民館 ～ 金継ぎワークショップ ～

11月8日(金)、只見町明和公民館で行われた公民館講座「金継ぎワークショップ」を訪問しました。この講座を担当する渡部さんにお話を伺ったところ、「昨年からやっている講座です。昨年は夜に実施していたのですが参加しやすさを考慮して今年は日中の開催にしました。全6回のこの講座に 明和地区外の方にも参加していただいています。」と話してくださいました。講師を務めた渡部さんは明和公民館の職員です。専門の先生がない中で、写真入りの書籍等を活用して研究と実践を重ねながら今回の講座を担当されていることが分かりました。当日は4回目のワークショップでした。2度目の中塗り前の工程に真剣な表情で取り組む受講生の姿が見られました。



金継ぎワークショップ



10月～11月 13:30～15:00

お気に入りの物が割れてしまった時、自分で修復出来たらと思うことはありませんか？
一人で始めるには敷居が高い金継ぎをみんなで体験してみましょう！
興味のある方は、ぜひご参加ください。

№	開催日	内容
1	10/29(火)	①道具の紹介・作成 ②漆塗り(へらを作る) ③修繕方法の指導 ④修繕物の様子見
2	10/31(木)	①修繕の接着・穴埋め
3	11/7(水)	①地塗り(1回目)
4	11/8(金)	①地塗り(2回目)
5	11/13(水)	①地塗り(最終)
6	11/14(木)	①磨き

中央公民館・明和公民館



ゴム手袋を付けて
漆を扱うため必需品です



参考にした書籍



丁寧に中塗り

器の破損には割れ・欠け・ひび・ほつれなどに分けられ、その種類によって修繕手順が変わります。今回の講座では様々な用具と材料を使いながら、接着・砥ぎ・中塗り・地塗り・粉蒔き・粉固め・磨き等の工程を6回に分けて行い、割れとひびの修繕に当たっていました。



<受講者の感想>

○ 友人にもらったコーヒーカップが割れてしまい、捨てられずに3年ほど保管していました。金継ぎは、以前テレビで見て自分もできたらいいなと思っていました。お知らせ版でこの講座を知り、定員5名という言葉を見てすぐに飛びつきました。



筆の洗浄とメンテナンス



水気を加えて段ボール漆風呂の中に



独特の味わいが

湿度を高めて漆が固まりやすい環境にします

金継ぎの技法には幾つかの選択肢がありますが、今回取り入れていたのは全工程を漆で繕う技法でした。柔らかな線の入った修繕中の器は、物を大切にしている日本の伝統技法が生かされており、独特の「味わい」を生み出しているように感じました。金継ぎは、興味があっても生漆を使用するため、個人で始めるには敷居が高いものです。興味のある方が集まり、体験することでお気に入りの器を自分で修復できるこの講座は、地域の方にとって魅力的な体験講座となっており、生涯学習にもつながっている内容でした。